

塩竈市立第二小学校 防災教育計画

1 防災教育のねらい

1 災害時における危険を認識し、日常的な備えを行うとともに、状況に応じて、的確な判断の下に自らの安全を確保するための行動ができるようにする。
2 災害発生状況時及び事後に、進んで他の人々や集団、地域の安全に役立つことができるようにする。
3 自然災害（地震・津波）の発生メカニズムをはじめとして、地域の自然環境、災害や防災についての基礎的・基本的事項を理解できるようにする。

2 防災教育の重点

(1) 発達段階から

低 学 年	中 学 年	高 学 年
災害が発生した時に、教員や保護者など近くの大人の指示に従うなどして適切な行動ができるようにする。	災害の時に起こる様々な危険について知り、自ら安全な行動ができるようにする。	日常生活の様々な場面で発生する災害の危険を理解し、安全な行動ができるようにするとともに、自分の安全だけでなく他の人々の安全に気配りができるようにする。

(2) 各教科等との関連

<低学年>

教科・領域等	学習指導要領の内容	取 扱 い
○生活科	安全な登下校	登下校、乗り物や駅などの公共物の利用において、安全な行動ができるようにする。
○道 徳	健康や安全に気をつけて生活する。 生命を大切にすることを 持つ	日常生活と関わって、健康や安全に気を付けて生活する態度や生命を大切にすることを育てる。
○特別活動	*学級活動 健康や安全に関する こと *学校行事 健康安全・体育的行事	*学級活動 様々な災害の際の危険について、具体的な場面を取り上げる。 *学校行事 避難訓練において、災害に応じた行動の仕方を身に付け、安全に避難できるようにする。

<中学年>

教科・領域等	学習指導要領の内容	取 扱 い
○社会科	災害から人々の安全を守る体制とそこに従事している人々の工夫や努力	火災などの災害を取り上げ、消防署等を見学したり、話を聞いたりして、その働きと消防士などの工夫や努力について理解できるようにする。
○道 徳	生活を支えている、人々や高齢者に、尊敬と感謝の気持ちを持って接する。	具体的な資料を活用して、生活を支えている人々や高齢者への尊敬と感謝の気持ちを持つとともに、生命の大切さを知り、生命あるものを大切にすることを育てる。

○特別活動	<p>*学級活動 健康や安全に関する こと</p> <p>*学校行事 健康安全・体育的行事</p>	<p>*学級活動 様々な災害の際の危険について、学校周辺や地域の特性 や実態を踏まえて取り上げる。</p> <p>*学校行事 避難訓練において、具体的な行動場面に潜む危険を考慮 して、安全に行動できるようにする。</p>
-------	---	--

＜高学年＞

教科・領域等	学習指導要領の内容	取 扱 い
○社会科	災害復旧に見る地方 公共団体や国の政治	災害が起こった時の市役所や県庁の救援活動、災害復旧 の様子などを具体的に調べ、そこには地方公共団体や国の 政治の働きが反映していることを理解できるようにする。
○理 科	流水の土地を変化さ せる働き 土地をつくっている もの、土地のでき方	流れる水が土地を変化させる働きを調べる過程におい て、洪水の危険性について理解できるようにする。 土地のつくりや土地のでき方を調べることを通して、土 地は火山の噴火や地震によって変化することを理解でき るようにする。
○家庭科	簡単な調理	米飯や野菜などの簡単な調理ができるようにする。 安全に留意して、用具、こんろなどを取り扱うことがで きるようにする。
○体育科	けがの防止	生活安全、交通安全、災害での事故防止について理解で きるようにする。
○道 徳	主として他の人との かかわりに関すること 主として集団や社会 とのかかわりに関する こと	生命がかげがえのないものであることを知り、自他の生 命を尊重できるようにする。 働くことの意義を理解し、社会に奉仕する喜びを知って 公共のために役に立てるようにする。
○特別活動	<p>*学級活動 健康や安全に関する こと</p> <p>*学校行事</p> <p>*遠足・集団宿泊的行事</p>	<p>災害時に自分自身が安全に避難するとともに、下級生の 安全に気を配り、大人への通報の仕方など、二次災害を防 ぐ態度や行動の仕方について取り上げる。</p> <p>災害の種類や程度等に応じた安全な避難行動ができ るとともに、通報など二次災害の防止等についても体験的に 理解できるようにする。</p> <p>自然教室の活動の際に、野外炊飯、火おこし、飲料水の 確保、止血などの簡単な手当などを体験する機会をできる だけ設けるようにする。</p>

3 防災教育の年間指導計画（別紙）

4 防災教育を進めるにあたっての留意点

- (1) 防災主任を校務分掌に位置づけ、防災教育担当者と協力しながら防災教育の計画・立案、実践、評価、改善に努める。
- (2) 防災教育を進めるにあたっては、地域の地形や自然環境を踏まえた計画を立案し、保護者や地域、専門機関との連携を図る。